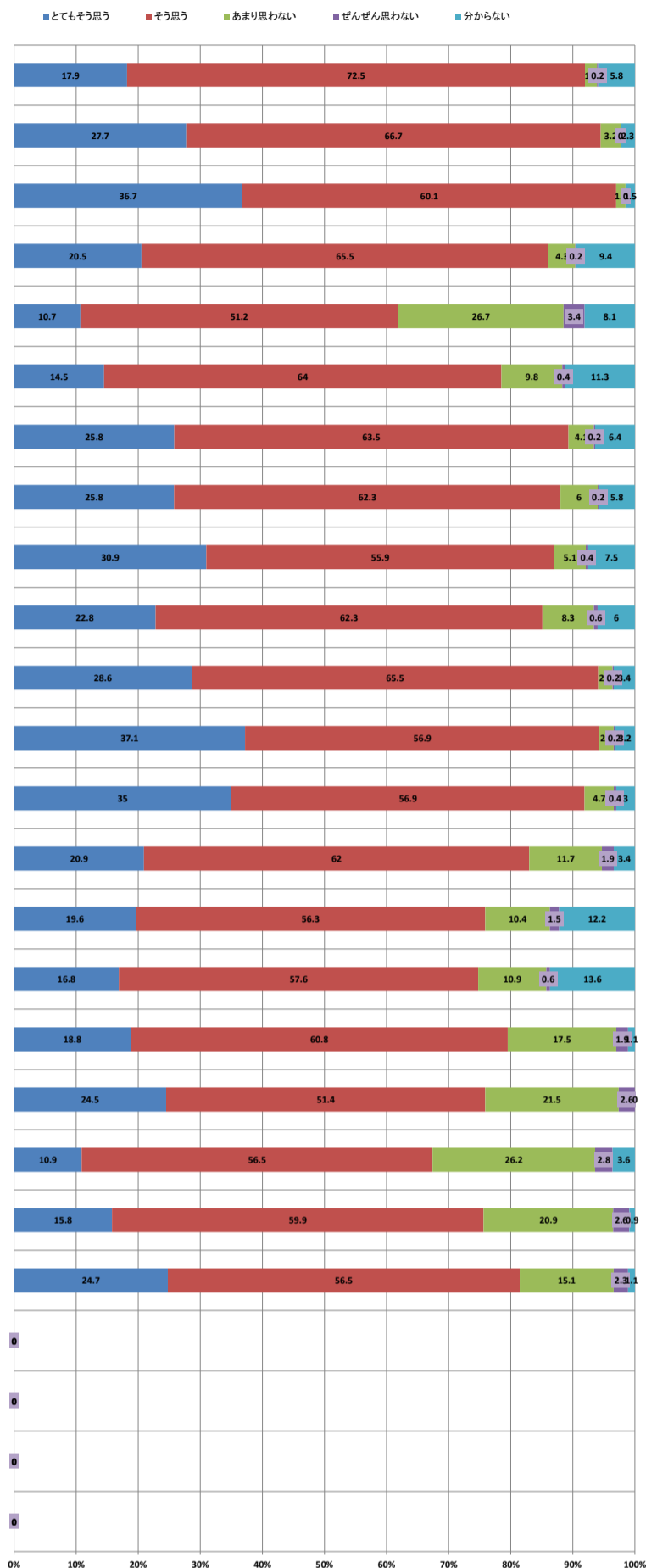


令和3年度 新宿区立四谷小学校 学校評価 保護者アンケート結果（後期）

質問項目	肯定的回答割合		
	R2後期	R3前期	今回
1 学校の教育目標・方針は子どもたちや地域の実態にあった適切な内容である。※知育・徳育・体育を重点とする教育目標や学年目標、指導の重点等	91.4	88.5	90.4
2 四谷小の子どもたちは仲よく生活しており、学校での様子は楽しそうである。	94.4	91.4	94.4
3 教職員は、誠実に子どもや保護者に接している。	96.1	92.5	96.8
4 学校では道徳や全ての教育活動を通じて命を大切にすることや思いやりの心を育む指導に努めている。	85.8	80.9	86
5 四谷小の子どもたちはあいさつの習慣が身に付いている。	54.4	54.6	○61.9
6 四谷小の子どもは思いやりの心や社会のルールを守る態度が身に付いている。	74	71.5	○78.5
7 四谷小の先生は、分かりやすい授業を行っていると思う。	90.3	74.7	89.3
8 四谷小の先生は、子供たちに基礎・基本の学力をつける指導に力を入れている。	88.9	81.7	88.1
9 四谷小は、タブレットPCなどを使って、子どもが「調べる」「まとめる」「伝え合う」授業をよく行っていると思う。	70.6	75.6	○86.8
10 コロナ禍の状況においても可能な限り、学校は、子どもたちの体力向上や健康の促進に積極的に取り組んでいる。		76.5	○85.1
11 コロナ禍の状況においても可能な限り、学校は災害の知識や身を守るための対処法などの自助の力や地域防災の協力・貢献する協力の力の育成につながる防災学習を行っている。	78.2	78.4	○94.1
12 子どもにいじめやいじめの疑いがある時には、学校に相談することができる(しよと思う)。	94.2	92.7	94
13 学校の教室や施設は清掃が行き届き、安全で利用しやすく整備されている。	92.6	82.7	91.9
14 学校は、日頃の教育活動の様子などについて、保護者会や学校だより、ホームページ等で分かりやすく伝えていていると思う。	81.5	74.2	82.9
15 学校は、学校外の専門家の人(警察・消防・福祉・水道・商店・スポーツ選手等)から学ぶ授業をよく行っていると思う。		69.4	○75.9
16 学校は、子どもが学校にかかわる地域の人(スマイルクラブの皆さん)と一緒に活動する機会をよくつづけていると思う。	72	58.6	74.4
17 自分のこどもは、家庭学習の習慣が身に付き、継続させることができている。	76.7	76.5	79.6
18 自分のこどもは「早寝、早起き、朝ごはん」がしっかりできている。	73.9	71.4	75.9
19 自分のこどもは、あいさつや場に応じた言葉づかいができている。	62.5	63.4	○67.4
20 自分は、学校の配布物を確認し、持ち物・提出物の点検を行わせている。	79	78.4	▼75.7
21 家庭で、子どものゲームをする時間、携帯・スマホを含むネット環境にルールを作っている。	81.1	79.4	▼71.2
22			
23			
24			
25			



1番・2番・3番は、継続して高い数値となっており、学校の取組を評価していただいていると受け止め、引き続き努力していく。
 4番に大きな変化は見られないが、6番は約4ポイント上昇している。
 →コロナ禍においての生活指導・道徳教育が浸透してきたことが上昇に転じたと考える。より高い数値になるよう努めていく。
 7番・8番・13番は高い数値を継続している。また、10番は約8ポイント、11番は約15ポイント上昇している。
 →学校行事や授業参観等の機会も増え、どのような様子かを理解していただいたことが大幅な上昇に転じたと考える。
 9番は約16ポイント上昇している。
 →一人一台タブレットが配布され、教職員も子どもたちも扱いになれてきたことが大きな要因と考えられる。今後も有効的な活用方法を模索していく。
 12番は、高い数値を継続できている。相談しやすい環境づくりを継続していく。
 15番は約6ポイント、16番は約2ポイント上昇している。
 →教育活動も制約がある中だが、活用する機会は昨年度より増えている。活動している様子が上昇に転じたと考える。
 14番は、前期の数値を踏まえ、学年・専科・その他のページを定期的に更新したことが上昇に転じたと考える。
 5番と19番の児童の挨拶と言葉遣いに関する項目は上昇傾向見られる。生活指導・道徳教育を通じて、さらなる改善を図っていく。
 →挨拶の励行指導、朝の検温時の挨拶の繰り返しにより、気持ちのよい挨拶をできる児童を増やし、成果を発信していく。
 17番・18番は上昇に転じているが、20番・21番は下降に転じている。
 →生活指導・道徳教育を通じて改善を図り、運動していくようにしたい。また、道徳地区公開講座を通して家庭と連携する。

<自由記述の意見について：当該学年に関わるものは担任から回答させていただきます>
 教室が寒い件について→文部科学省のガイドラインに則り、換気を行っている。窓やドアの幅を狭くし、暖房を気温に応じて使用していきたい。
 給食について→毎日HPIに掲載を行い、保護者に伝わるようにする。
 荷物について→国語・算数の教科書は持ち帰り、他の教科書類は置いて帰ってよいこととなっている。宿題等もタブレットを活用していく。ピアノは吹き口のみの持ち帰りに変更をする。絵の具は、同じフロアの水道場を利用し、なるべく持ち帰らないようにしていく。
 学級増に伴う特別教室が狭い件について→区へ昨年度から要望を出し、検討してもらっているが、四谷小学校としての回答は難しい。
 連絡帳の見せ忘れについて→見せ忘れがないように家庭でも声掛けしていただけるようお願いをする。
 プリント配布の停止・アンケート電子化について→緊急メールにデータ添付ができない設定となっている。HPIには学校だより・学年だよりを掲載している。すでにマイクロソフトホームズを導入している近隣校もあり、適切な実施について検討をすすめる。
 タブレットについて→タブレットは毎日充電する必要がある、毎日の持ち帰りの道具に入っている。区から配布されているものであり、区の統一ルールで自分で変えられるものではない。
 あいさつの必要性→防犯上、誰にでも挨拶はすることは求めているが、保護者や地域のお店、関係者だけに留めるよう学校でも指導をしていく。また、地域の青少年育成会でもあいさつ運動をすすめており、学校でもあいさつの大切さは伝えていきます。
 アルコール消毒・マスクの常着について→2月の学校だより参照。